

岩手県感染症週報

平成15年第37週（9月8日～9月14日）

岩手県結核 感染症情報センター

第37週の概要

1 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

2 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

3 類感染症

- ・腸管出血性大腸菌026による感染の報告が釜石地区で2例、宮古地区で1例ありました。

4 類感染症（全数把握対象疾患）

- ・盛岡地区からHIV感染症の報告が1例ありました。患者は40代の男性です。

4 類感染症（定点把握対象疾患）

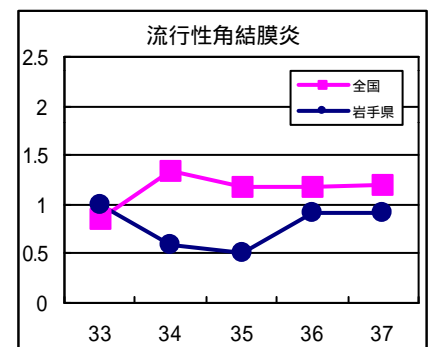
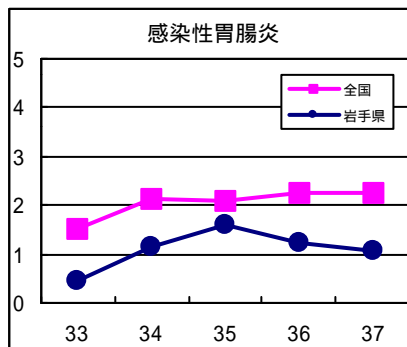
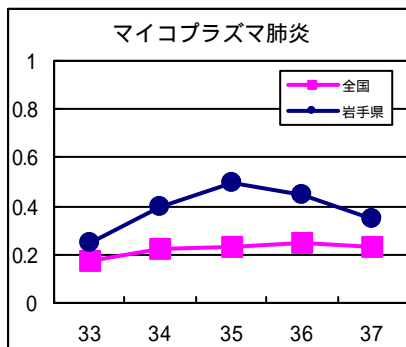
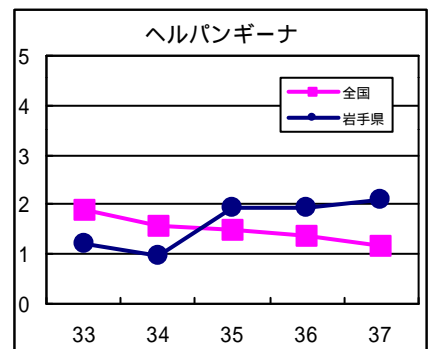
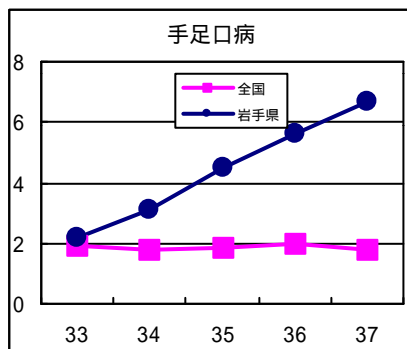
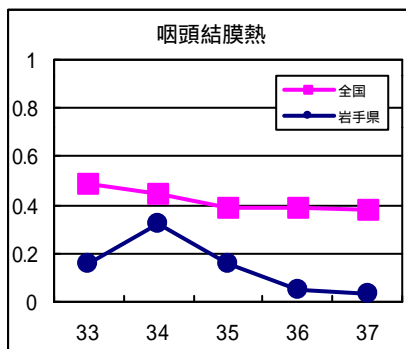
- ・手足口病の患者数は、4週連続増加の一途をたどっています。この週に警報値（定点当たり患者数5.0人）を超えている地区は、県内10地区のうち盛岡、釜石を除く8地区で、ほぼ全県で大流行の状態にあります。特に久慈地区では定点当たり患者数が36.0人と、県内では最も多い患者数の報告がありました。

手足口病はエンテロウイルスといわれる、腸管内でも増殖するウイルスの一種が引き起こす疾患です。糞便とともにウイルスが排出されるので、おむつの交換時や排便後などの十分な手洗いが感染の予防に有効です。また1～5歳までの患者が大多数を占めており、幼稚園や保育園での予防対策が必要です。

- ・ヘルパンギーナは先週に引き続き、盛岡地区で患者数が増加しています。
- ・県内各地でエンテロウイルスの仲間によると思われる発疹症や咽頭炎の患者が発生しています。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		33	34	35	36	37		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
咽頭結膜熱	岩手県	0.16	0.32	0.16	0.05	0.03	↘	
	全国	0.49	0.45	0.39	0.39	0.38		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.21	0.53	0.37	0.34	0.18	↘	
	全国	0.34	0.44	0.42	0.45	0.5		
感染性胃腸炎	岩手県	0.45	1.16	1.58	1.21	1.05	→	
	全国	1.51	2.13	2.08	2.26	2.27		
水痘	岩手県	1.24	1.42	1.24	0.45	0.82	→	
	全国	0.72	0.67	0.63	0.53	0.53		
手足口病	岩手県	2.21	3.11	4.5	5.63	6.68	↗	
	全国	1.91	1.79	1.85	1.96	1.78		
伝染性紅斑	岩手県	0.03	0.13	0.16	0.05	0.03	→	
	全国	0.13	0.28	0.2	0.2	0.16		
突発性発疹	岩手県	0.53	0.47	0.68	0.63	0.47	→	
	全国	0.63	0.84	0.92	0.94	0.95		
百日咳	岩手県	0	0.03	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0.03	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	1.21	0.95	1.92	1.95	2.08	↗	
	全国	1.91	1.57	1.5	1.36	1.18		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0.05	0.08	0	0.05	0	→	
	全国	0.02	0.03	0.02	0.02	0.02		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.29	0.53	0.37	0.39	0.39	→	
	全国	0.42	0.49	0.39	0.36	0.41		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.04	0.04	0.03	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	1	0.58	0.5	0.92	0.92	→	
	全国	0.86	1.35	1.17	1.17	1.19		
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0.01	0	0		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0.05	0	0	0	→	
	全国	0.12	0.14	0.1	0.11	0.11		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.25	0.4	0.5	0.45	0.35	→	
	全国	0.17	0.22	0.23	0.25	0.23		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0	0	0	0		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↘ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↗ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	岩手県					全国		
		33	34	35	36	37	累計	37	累計
一類感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	13
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	8	18	330
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	3	42
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	23
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	12	7	3	1	3	43	79	1879
四類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	3	2	347
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	1	15
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	1	1	35
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	1	1	0	0	12	1	520
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	6
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	5
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	1	80
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	43
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	1	1	10	611
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	71
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	16
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	1
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	5	0	136
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	22
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	33
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	2	4	341
	破傷風	0	0	0	0	0	0	2	48
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	43
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	52
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	4	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	4	106	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

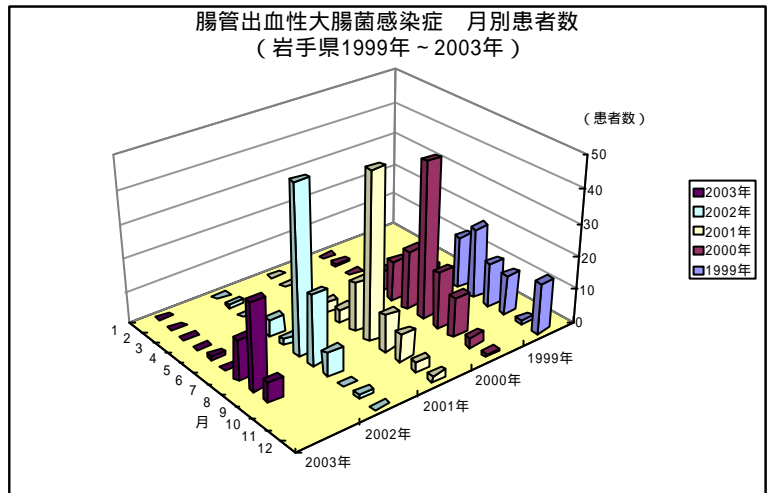
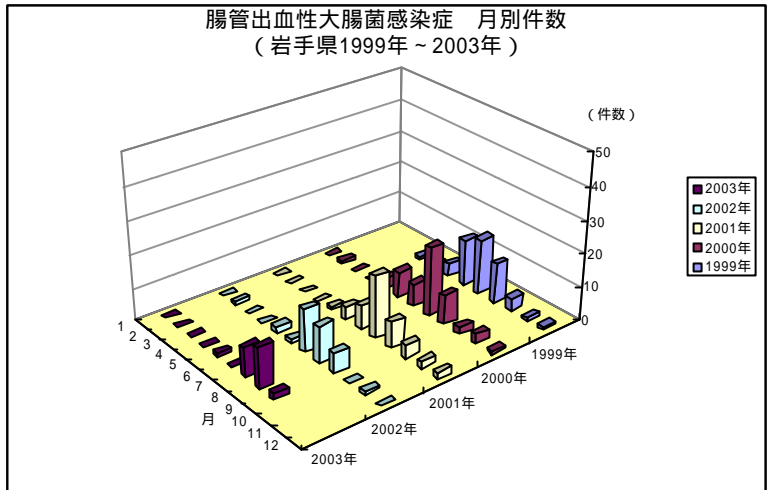
今注目の感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症はこの夏、各地で散発事例が発生しています。大規模な集団感染事件などは発生していませんが、散発例が多く発生しており、多くの事例で家族内感染が確認されています。

抵抗力の弱い子どもやお年寄りなどでは、しばしば溶血性尿毒症症候群(HUS)や脳症などを併発し、ときには命に関わることもあります。

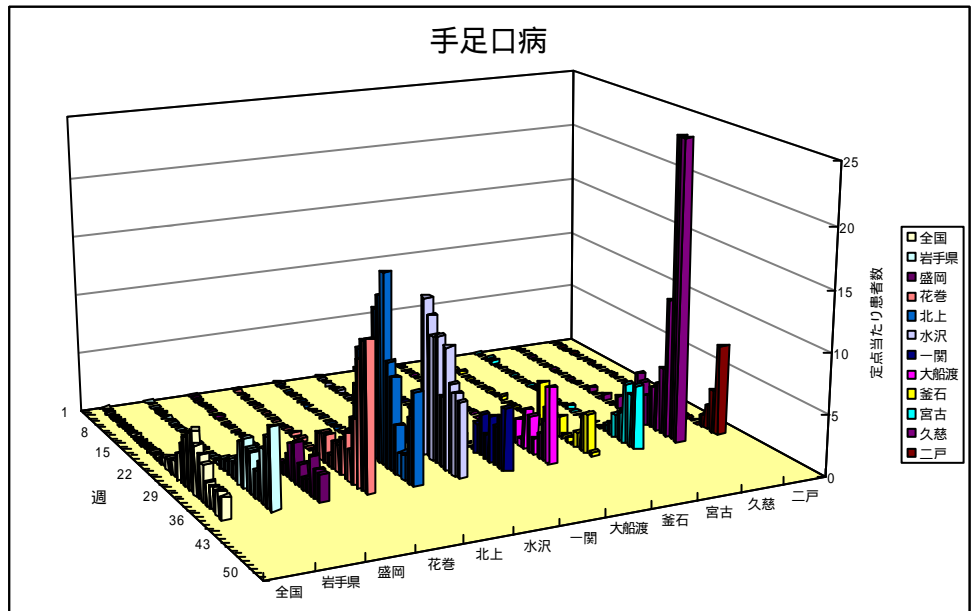
感染の予防には、一般的な細菌性食中毒予防の三原則（菌をつけない、増やさない、殺菌する）が有効です。十分に手を洗う、調理器具などを消毒する、食品はよく加熱するなど、今の季節では厳重な注意が必要です。



手足口病

手足口病は例年よりもやや遅い時期に患者数の増加が続いており、久慈地区では定点当たり患者数が36.0となりました。県内で発生した患者からは、エンテロウイルスの一種であるコクサッキーA群ウイルス16型が検出されています。

このウイルスは、腸管内でも増殖し、糞便とともに排出されるので、感染の予防には十分な手洗いが重要です。



病原体検出情報

- ・急性扁桃腺炎の患者（3歳、4歳）の咽頭拭い液からエンテロウイルス（型別不明）を2例検出しました。
- ・熱性けいれんの患者（1ヶ月）の髄液からエンテロウイルス（型別不明）を1例検出しました。
- ・ヘルパンギーナの患者（2歳）の咽頭拭い液からエンテロウイルス（型別不明）を1例検出しました。
- ・無菌性髄膜炎の患者（13歳）の髄液からエンテロウイルス（型別不明）の遺伝子を検出しました。

集団感染情報

- ・この週には集団感染の情報はありません。

医療機関からの情報

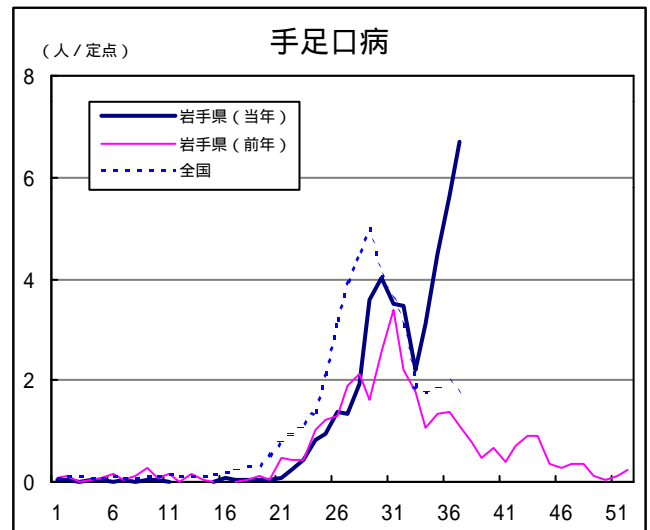
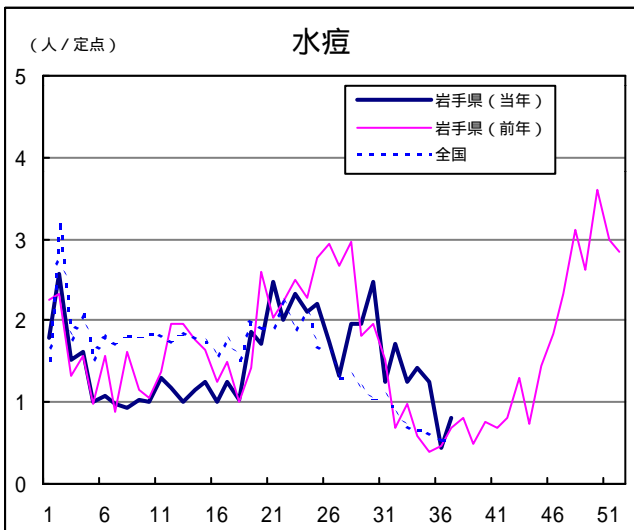
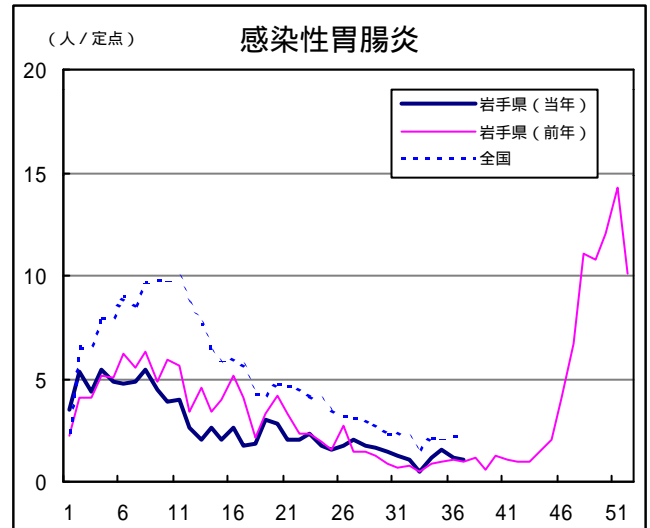
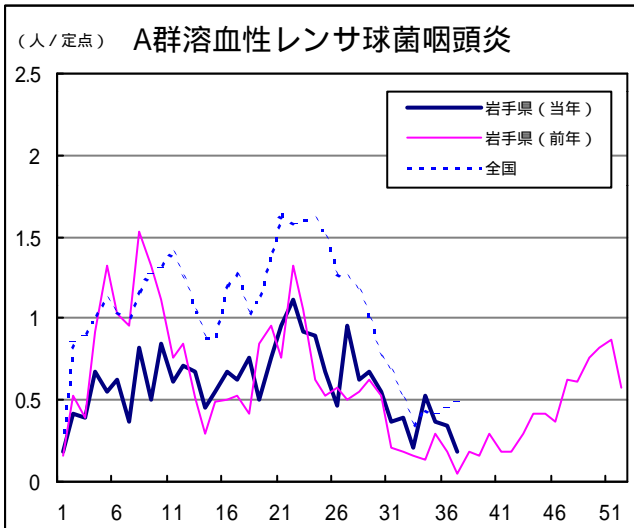
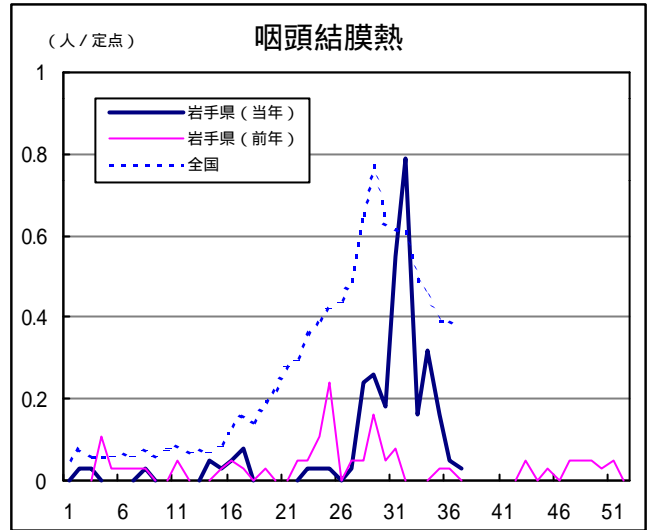
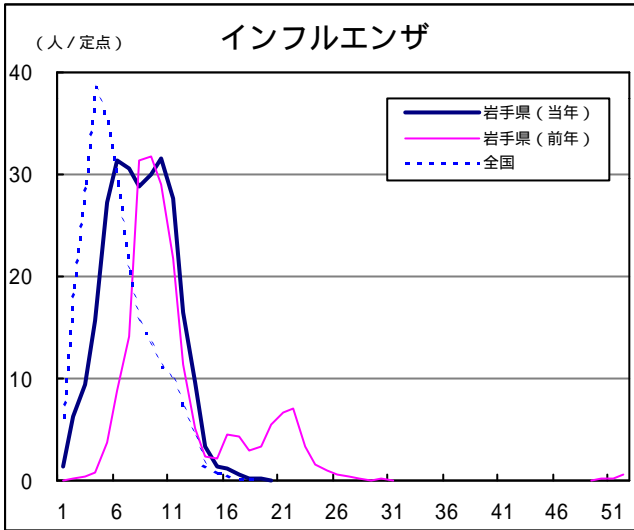
- 盛岡地区の医療機関（小児科）から
- ・北上地区にある保育所で、発疹症の流行がみられています。
 - ・手足口病が大流行。幼稚園、保育園単位で流行しています。手足口病とともにヘルパンギーナの流行がみられる幼稚園もあります。咽頭の発赤と発熱を併発している患者さんもあるようです。

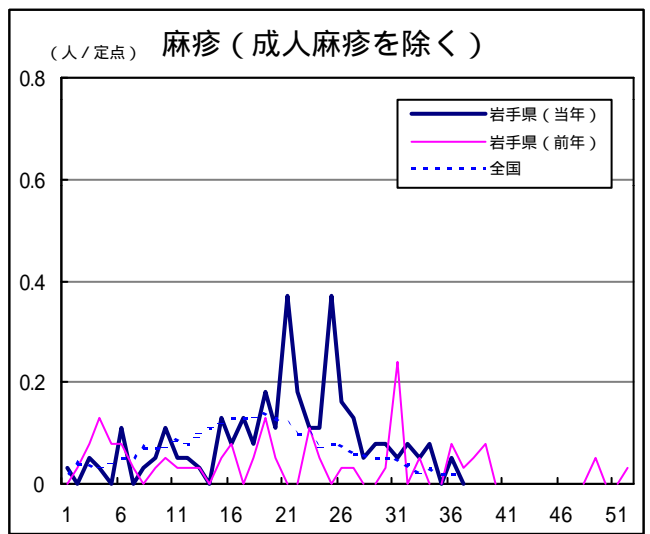
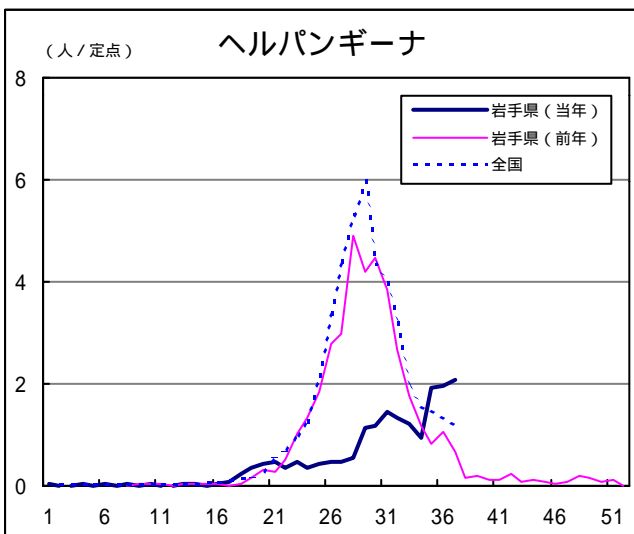
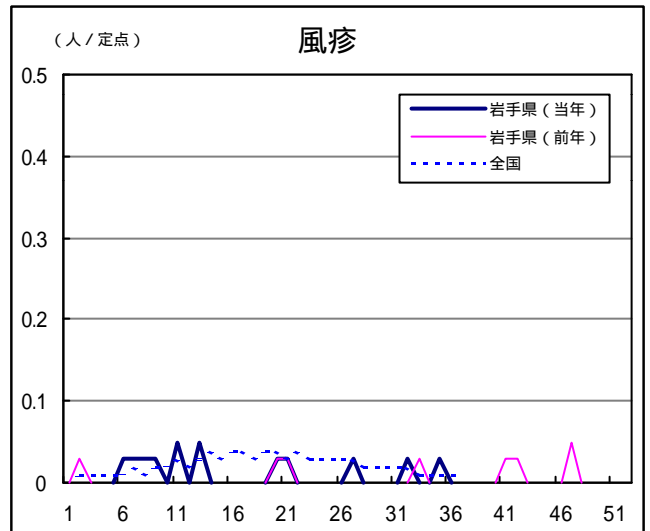
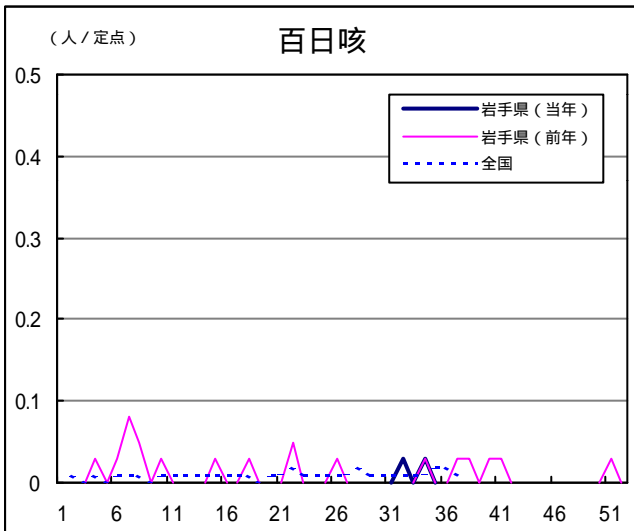
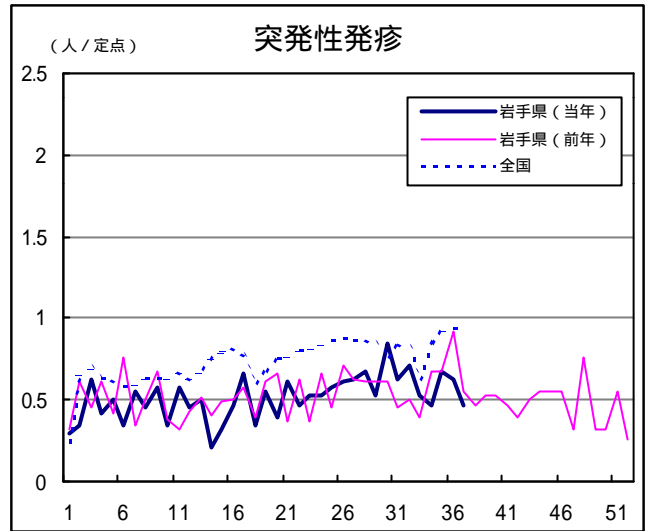
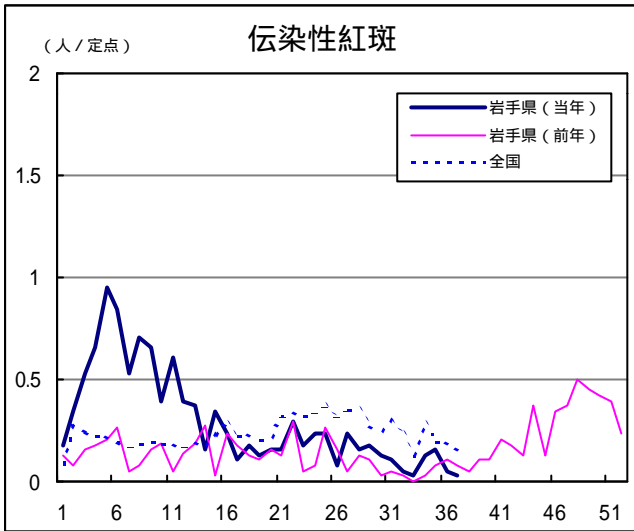
Q & A

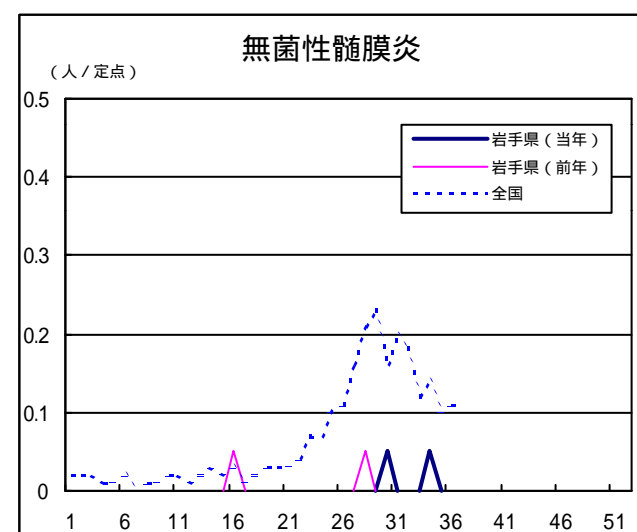
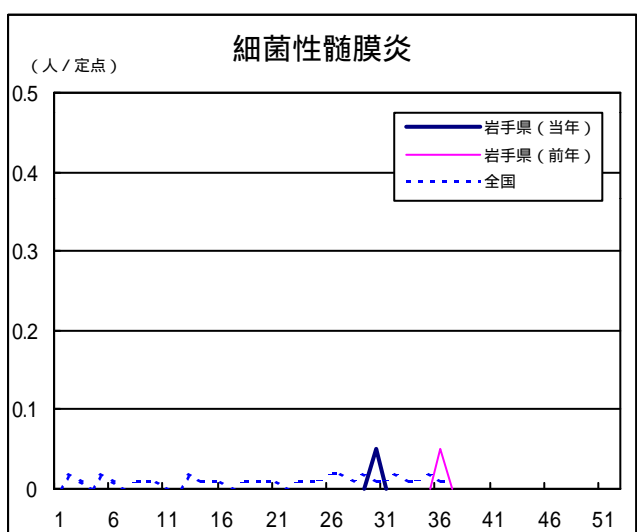
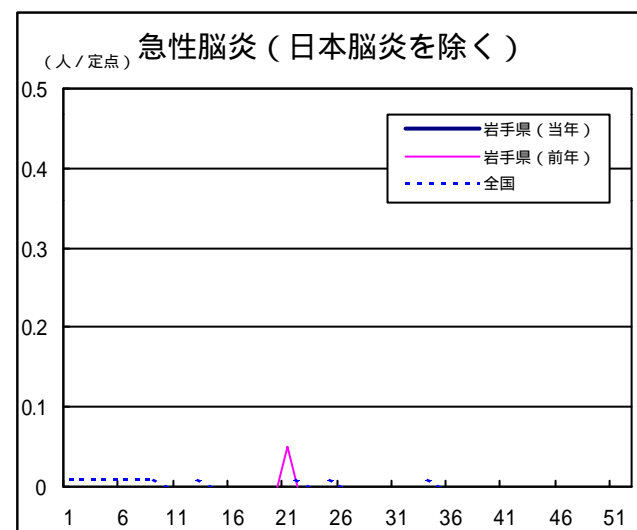
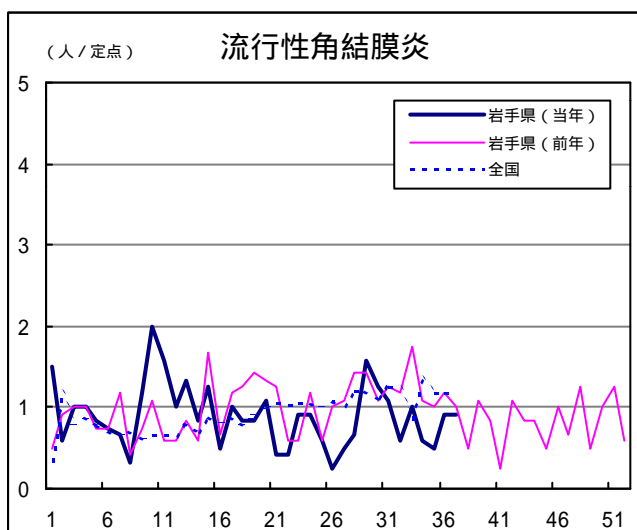
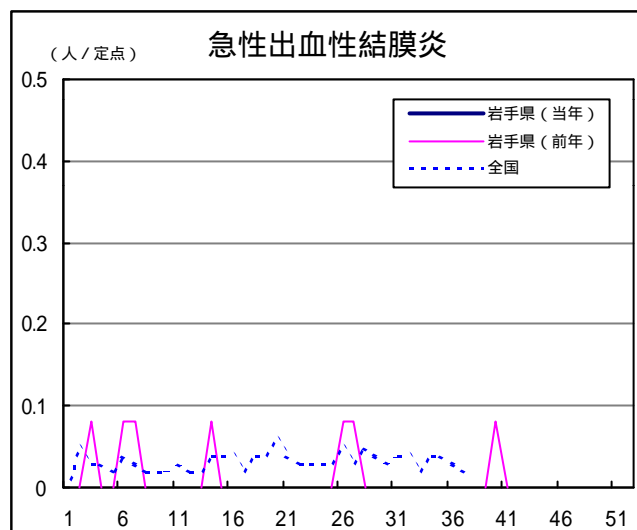
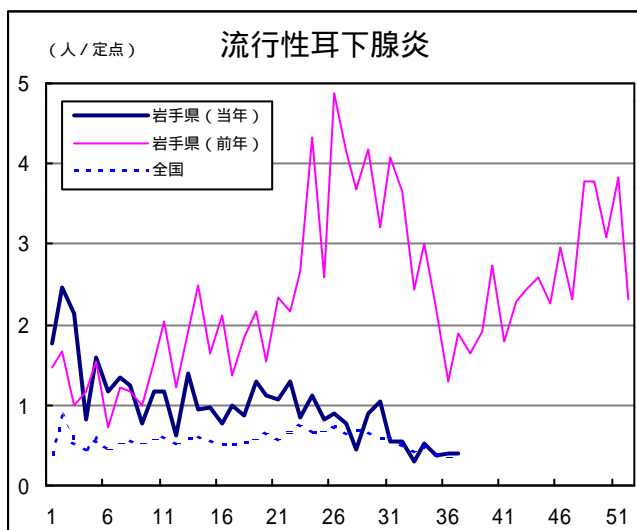
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

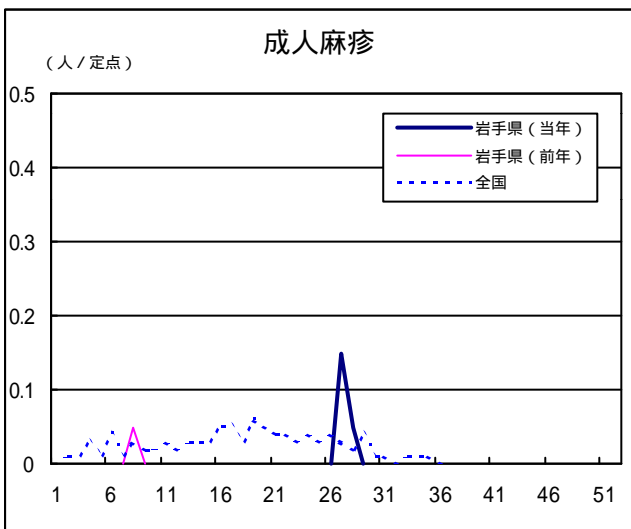
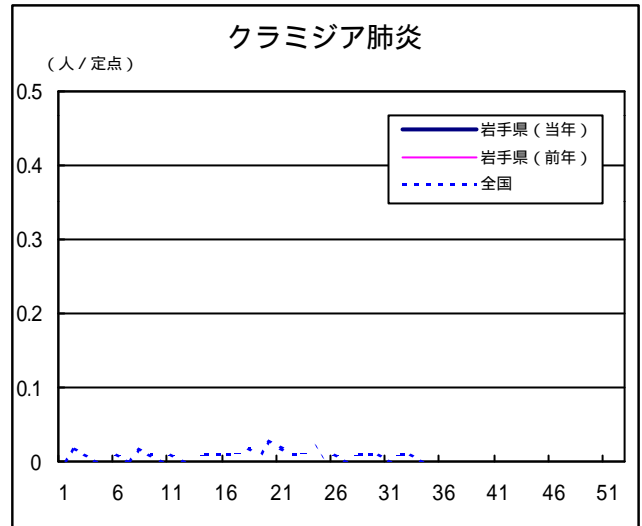
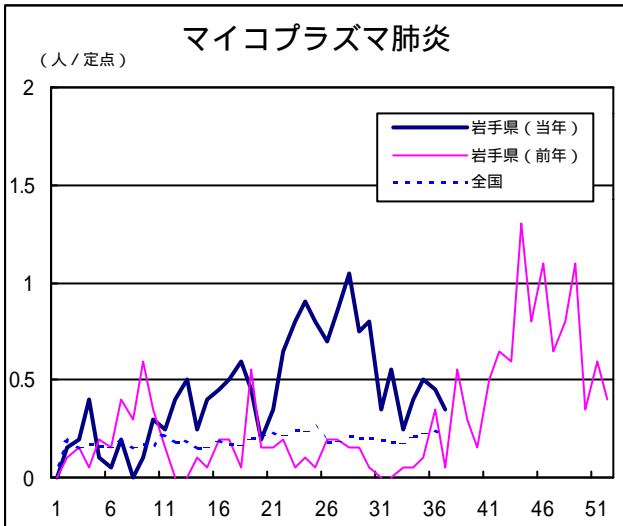
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成15年第37週 平成15年9月19日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 （岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>